

2020年12月1日
中央日本土地建物グループ株式会社

日土地アセットマネジメント 私募リート¹の運用資産規模が1,000億円に到達

中央日本土地建物グループ株式会社（千代田区霞が関一丁目 代表取締役社長 平松哲郎）は、子会社である日土地アセットマネジメント株式会社（千代田区霞が関一丁目 代表取締役社長 柴田利喜）が運用する非上場オープンエンド型投資法人（以下「私募リート」）「日本土地建物プライベートリート投資法人」の運用資産規模が、本日1,000億円（取得価格ベース）に到達しましたのでお知らせします。

日本土地建物プライベートリート投資法人は、金融機関や年金基金を中心とした機関投資家の運用ニーズにお応えするため、2015年2月に運用を開始しました。中央日本土地建物グループ、東京センチュリー株式会社、神鋼不動産株式会社によるスポンサー・サポートにより、中長期にわたる安定的なインカムゲインの享受を目指した投資・運用戦略を展開し、東京圏のオフィスビルを中心に商業施設や住宅、滞在用施設、物流施設など優良な不動産ポートフォリオを構築してきました。

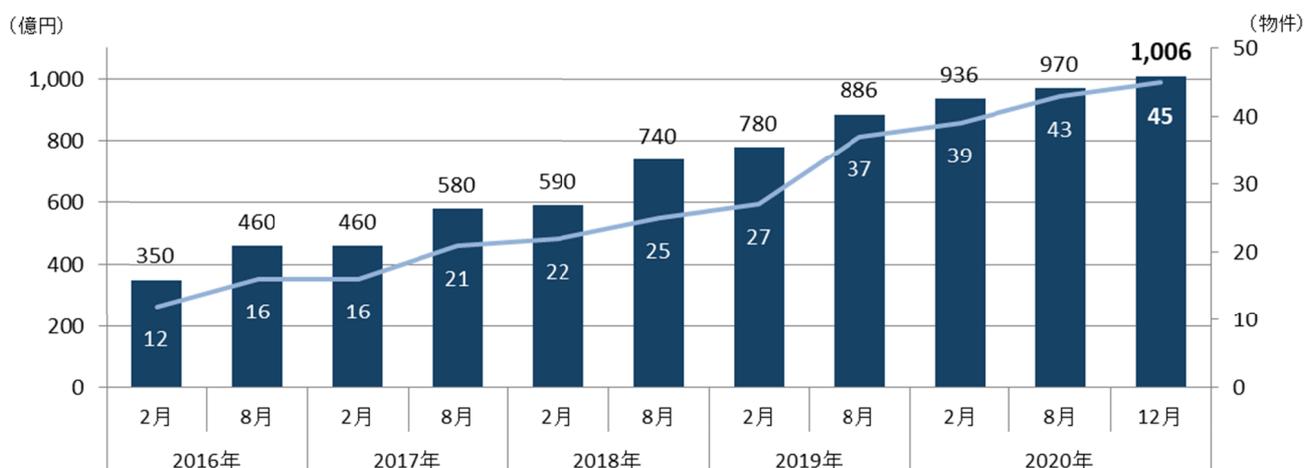
今後も、新型コロナウイルスの影響など世界経済を含めたマクロ環境に注視しながら、投資家の皆様のニーズにお応えすべく、厳選投資を通じた資産規模のさらなる拡大や、キャッシュフローの維持・向上に向けた取り組みを継続していきます。

中央日本土地建物グループでは、開発物件などを対象とした不動産投資商品を提供し、中長期的な視点から堅実、良質、安定的な資産運用を行っています。2000年に第一号証券化案件を組成して以降、多数の私募ファンド組成・運用を行ってきたほか、証券化スキームを活用した不動産開発や購入・売却などのサービスを提供してきました。当社グループ唯一の私募リートである日本土地建物プライベートリート投資法人に対しては、パイプライン契約による物件の供給のみならず、ウェアハウジングなどによる物件取得、リーシング、プロパティマネジメントなど、デベロッパーならではの実績とノウハウを活かしたサービスの提供により、今後とも持続的な成長をサポートしていきます。



NTPR
NIPPON TOCHI-TATEMONO Private REIT Inc.

◆日本土地建物プライベートリート投資法人の運用資産規模・保有物件数の推移



◆投資法人の概要

名 称	日本土地建物プライベートリート投資法人
運 用 開 始 時 期	2015年2月
運 用 資 産 規 模	1,006億円 (取得価格ベース、2020年12月1日時点)
保 有 物 件 数	45件 (2020年12月1日時点)
投 資 対 象	総合型 (オフィスビル、商業施設、住宅・滞在用施設・物流施設・ヘルスケア等)

◆資産運用会社の概要

商 号	日土地アセットマネジメント株式会社
所 在 地	東京都千代田区霞が関一丁目4-1
設 立	1973年4月 (2007年11月商号変更)
株 主	日本土地建物株式会社 (70%)、東京センチュリー株式会社 (30%)
代 表 者	柴田 利喜
事 業 内 容	私募リートの組成・運用、私募ファンドの組成・運用、 不動産証券化アレンジメント

中央日本土地建物グループ株式会社 経営企画部広報室 (西村・平山)
Tel.03-3501-6906 Fax.03-3506-8940